

1 目的

- ① 幼児児童生徒の図形認知の実態を把握し、自立活動や各教科等の指導に生かす。
- ② 幼児児童生徒の実態の変容や学習効果を確認する。

2 実施期間

令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

3 検査者

対象幼児・児童・生徒の自立活動担当者 ※担当が複数の場合は、相談の上実施する。

4 対象者

幼稚部幼児及び小学部児童、中学部生徒

※重複障害などの理由から検査の実施が困難な幼児児童生徒、全検査項目を達成した児童生徒を除く。

5 調査の方法及び、留意点

- ① 点字生は立体コピーで作成した調査図形を触察し、レーズライターを用いて再生する。
墨字生は上段に示された図形を、下段の枠内に鉛筆を用いて再生する。
- ② 再生の際は、示された図形の大きさ、方向まで同様に再生する。
- ③ 図形を触察 or 視認した際に、口頭で図形を表現させる。
ex. 「上向き三角と下向き三角が重なっています。」
- ④ 調査は、1 番から順に行う。また、それ以上調査が困難と判断される場合は、途中で中断してもかまわない。
- ⑤ 調査は自立活動の時間を利用して行う。
- ⑥ 調査時の触り方、見方、言語表現、書き方は記録用紙に記録する。また、チェックリストに所見を記入する。検査用紙は自立活動部が用意します。

＜記録用紙記入に当たって＞

「触り方、見方、言語表現」欄

幼児児童生徒の触り方の特徴、あるいは図形認知に関する言語による説明等を記入する。

「書き方」欄

書き順あるいは書く際の特徴について記入する。

「結果」欄

検査者が縮小コピーし、貼り付ける（できれば、縮小倍率を一定にする）。

- ⑦ 記録用紙とチェックリストは自立活動部へ提出する。

6 調査の集計と結果の活用

検査結果は、自立活動部で分析し、自活担当・担任と情報共有します。検査後の記録用紙等は書棚に保管しておきますので、必要に応じて活用してください。